

二酸化炭素(CO2)排出量計算表(その1)

別添

社名: ()
 担当者名: _____
 電話番号: _____

登録番号	
導入車両車名	
導入車両型式	

導入車両の自動車検査証の内容を記載

(CNG車(圧縮天然ガス自動車))

*社名の()はリース貸渡し先を記載

	導入車両のH28年度の 使用状況	導入車両のH29年度の 使用状況	備考
使用開始日	平成28年4月10日		現登録日付もしくはそれ以降に運送事業での利用を開始した日(いずれか遅い方)の日を記入してください。
導入車両の各年度の 走行距離(km)①	km	km	28年度は補助対象車両の登録日から29年3月31日までの走行キロ(注2)を記入してください。 29年度は29年4月1日から平成30年3月31日までの走行キロ(注2)を記入してください。
導入車両の各年度の 燃料使用量(Nm ³)②	Nm ³	Nm ³	28年度は補助対象車両の登録日から29年3月31日までの燃料使用量(注2)を記入してください。 29年度は29年4月1日から平成30年3月31日までの燃料使用量(注2)を記入してください。
導入車両の年間 平均燃費③	#DIV/0! km/Nm ³	#DIV/0! km/Nm ³	①÷②により導入車両の平均燃費が計算され表示されます。
導入車両における CO2排出係数④	2.23 kg-CO ₂ /Nm ³	2.23 kg-CO ₂ /Nm ³	排出係数とは、単位量の燃料当たりから何kgのCO ₂ が排出されるかを計算するための係数です。天然ガスは2.23kg-CO ₂ /Nm ³ です。
導入車両の年間 CO2排出量⑤	#DIV/0! tCO ₂	#DIV/0! tCO ₂	②×④÷1,000により導入車両の年間CO ₂ 排出量(年度途中で導入の場合は、そこから年度末までの間のCO ₂ 排出量)が計算されます。
CO2削減量	#DIV/0! tCO ₂	#DIV/0! tCO ₂	CNG車においては本来、標準車両における都市間走行主体使用時のCO ₂ 排出量と比較する必要がありますが、本表ではCO ₂ 削減効果は標準車両比10%と仮定し、⑤×(10/(100-10))により算定します。

注1. 上記様式は、当該年度末及びその後の1年間について必ず作成し、そのコピーを交付規程様式第15事業報告書と共に提出してください。

注2. 燃費改善効果及び二酸化炭素削減効果を把握することが、当該補助金の目的であり、事業報告書を提出しない場合は、補助金の返還もあり得ます。

注3. 補助対象車両が複数の場合は、本表を台数分提出してください。